

集落情報誌 おおせ物語

平成 21 年 3 月 10 日 第 12 号

発行／おおせを語る会

おらだの元気な古里づくり

大瀬のみんなで参加しよう!!

3 月 21 日(土)

13:30~
パワーセンター白鷹

おおせ博覧会

今年度（平成 20 年度）「大瀬の未来展望プロジェクト」として 1 年間取り組んできたしめくりとして、標記事業が 3 月 21 日（土）、パワーセンター白鷹を会場に開催されます。

今回の事業は、大瀬地区を中心に、白鷹町、山形県と一緒にプロジェクトに参画し、取り組んできた「美しい山形・最上川フォーラム」が主催する事業で、大瀬の心と心のふれあいを通じた活動の成果を発表する機会として企画されています。

詳細な日程については、下記の囲みのおりとなりますが、中山からはまあ・どんな会、山際からは十二の桜会の協力を(1)

(2) 得た「しらたか的美食（ごっつお）売店」の出店や、いま NHK の大河ドラマで話題の「天地人」にちなみ、「慶長出羽合戦・大瀬からとった兼続のとった戦略とは…」と題した基調講演、さらに本木勝利監督・脚本・カメラマンのドキュメンタリー・ムービー「おおせ物語」の発表上映会も行われるなど、盛りだくさんな内容の事業となっています。

ちょうど「お彼岸」ということもあって、何かと忙しい日程ではあると思いますが、是非都合をつけてご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

プログラム

11:00	開場
13:00	ホール開場
13:30	開会行事
13:35	THE MOVIE 「おおせ物語」
14:05	歴史講演会

演題

「慶長出羽合戦・大瀬から兼続のとった戦略とは…」

講師（←写真）

米澤直江会

会長 小山田信一氏（米沢市）

15:30 閉会（予定）

まだまだ

つんこもり!!



しらたか美食【ごっつお】売店

11:00 開店～16:00 閉店

□ 出店団体

★まあ・どんな会(中山)

※なじょ鍋

★十二の桜会(山際)

※夜中のかいもち

※こずかいをちょびっとずつ持ってきてくださいね。

そして
復活 大瀬の
昔ぎゃらいい
3月18日(水)から
3月24日(水)まで

注) 12:00 にたが屋さん前広場より、町の送迎バスが運行されます。皆さん是非ご利用ください。（ご利用希望の方は、各組長を通じ区長までお申込ください。） ※帰りのバスは、16:00 パワーセンター発となります。


川下四区合併に向けた話し合いが始まる!!

去る 2 月 11 日、下山公民館を会場に開催された『川下を語る会』において、大瀬から出席の五十嶺七郎氏、五十公野春己氏の両氏より「川下四区合併」の検討に対する提案がなされました。(1)

(2) 当日は町長はじめ、荒砥地区選出の議員全員が出席する中でこの提案を、参加者は大変重要に受け止め、各区の区長を中心に合併に向けた話し合いが始まっています。

合併による一番の利点は、区費を今までよりも安く抑えることが可能になるということ。今すぐ各区の足並みをそろえるということは難しい課題ですが、それぞれの区における総会を皮切りに協議が本格化することが考えられます。

ひとり一人の助け合い・ふれあい・睦み合い 未来にほこる『大瀬の郷』


=大瀬物語=
こくらく構想図




◆「守ろう！」

～豊かな自然を守りたい～

- ・無落や田んぼがホタルでいっぱい
- ・モリオオエル・サシショウウオがいつもいる
- ・平田川のオショウヤマ・イワ等の保全
- ・魚とりができる平田川の取捨整備
- ・アケビ・スグリ・グミ等を活用しよう
- ・山菜(たけのこ・きのこ等)がいっぱい
- ・美しい田畑の風景を守りたい
- ・自然を守り、養う人が増えればいいなあ

◆「つなごう！」

～歴史・文化を未来に伝えたい～

- ・大瀬めぐりや宝物マップの作成(道順や由来)
- ・神社各所の草刈りや整備と保全
- ・石碑や神社(納馬)、穴塚や新塚の歴史研究
- ・田道新の草刈りや文化遺産の保全
- ・老朽化したお不動様や神社の修復
- ・各種伝説(源太郎石・光石・つぶて石等)の検証
- ・「やははえろ」、獅子舞(大瀬・平田)の継承
- ・泉の恵(酒呑み)や山の神へのお供えの継承

◆「活かそう！」

～すばらしい資源を活かしたい～

- ・産直施設で地元名産品販売(穴倉貯蔵の農産物)
- ・平田の空き家活用(穴倉そば、農家民宿など)
- ・健康食品の開発(柿餅づくりや赤スモモなど)
- ・サイクリングロード整備(周回)
- ・青少年の健全による観光名所
- ・車が立ち止まる観光名所
- ・二代目様の維持管理と保全
- ・桜が満開(ふれあい広場や公民館)

◆「楽しもう！」

～楽しい生活を築きたい～

- ・山間ほ場での田んぼの継承(基盤づくり)
- ・農作業の手伝い人や作業委託(体制づくり)
- ・大瀬の取捨・整備による維持管理の軽減
- ・国道へ押しボタン式の番号機を設置
- ・大瀬分枝の復活や養蚕の再開
- ・若い人が働く会社の建設
- ・穴倉貯蔵庫の設置と活用を図りたい
- ・路線バスがなくなることを

お 大きな夢と
お 思いをむねに
せ 清流ねがう最上川
＜白鷹町大瀬地区＞

冷え込みの厳しい朝となった2月1日。大瀬では、毎年恒例となっている公民館主催の卓球&輪投げレクリエーション大会が開催されたこの日、当日午後からは「大瀬の未来展望プロジェクト」として、平成20年度の大瀬における取り組みの総括として「まとめの会」が行われました。

地元・大瀬を中心に、町、県、美しい山形・最上川フォーラム、そして、先日の講師を務められた長井市の佐藤与七さんをはじめとする町内外の大瀬応援団の参加もあり、総勢36名が参加する「まとめの会」となりました。

「まとめの会」では、最初に町担当による大瀬の現状と1年間の取り組みの経過説明で「ふりかえり」を行った後は、10月の集まりの際に大瀬の皆で話し合った提案を、県の木村眞一企画専門員がイラストを用いながらわかりやすくまとめた「大瀬物語ごくらく構想図」の発表が行われました。

「ひとり一人の助け合い・ふれあい・睦み合い 未来にほこる『大瀬の郷』」としたキャッチフレーズに参加者全員が納得しながら、今後の大瀬における基本方針などを確認しました。

また、その後は、ワークショップでおなじみとなった県の高橋信博先生が「大瀬ごくらく絵図を現実のものとするため」の各地の事例などを紹介しながら、『ハレ』と『ケ』について (1)

大瀬の未来展望
プロジェクト **5** project

2月1日(日) 実施

まとめの会



(2) お話をされました。

「都会に暮らす人にとって田舎暮らしは『ハレ』。一方、田舎に暮らす者にとっての日常の生活は『ケ』である。その『ケ』こそが都会人から見た田舎の大きな“魅力”であり、田舎に暮らす我々は、その『ケ』を磨いていこう」と話されました。

今年度1年を振り返ると、改めて「地域」の中での交流やふれあい、助け合いが、地域づくりを行っていく上で重要なんだなあと感じた1年でありました。平成20年度の取り組みは、一応ひと段落ということになりましたが、また、4月から、そして今度は大瀬自らが主体となった事業を通じた地域づくりの活動に取り組んでいく予定となっています。

参加者募集中!!

地域が元気になる **「ふるさとづくりフォーラム」**

3月13日(金) 午後1:30 開会

会場：ホテルメトロポリタン山形 4階「霞城」

木村眞一さんが、大瀬の取り組みについて発表します。現在区長が取りまとめているので、都合のつくかたは是非参加してください!!

※移動は町のマイクロバスを予定しています。